

# あわくら 歴史街道

近代化遺産  
志戸坂峠  
(大字坂根 字志戸坂)

志戸坂峠は、古く平安時代の頃には鹿跡御坂(ししとみさか)と呼ばれており、1098年には、因幡守に任ぜられた平時範や平宗成が赴任のためこの峠を越えています(時範記 中右記)。



開鑿の碑

天明8(1788)年の美作絵図には、志戸坂という現在と同じ名前が記されています。慶長18(1613)年には、鳥取藩主池田備中守に嫁いだ津山藩主森忠政の長女お松様が上方へ療養に向かう途中、この志戸坂峠で亡くなったと伝えられており(東作誌)、その後慶安元(1648)年には、因州の殿様が初めて参勤交代でこの峠を通り、その度ごとに雪除け、その他の用務に携わってきた山麓坂根村の人々の苦勞が忍ばれます。

当時の志戸坂峠道は、峻険なつづら折りで、夏秋は雨水のため路面が荒廃し、春冬は積雪で通行不能。僅かに除雪して用務を果たしている状態でした。そこで明治18年に開削工事が始まり3年近い歳月と工事費4,385円を費やして、現在の峠道が完成し、日露戦争以後軍事上の要道として利用も多く重要な役割を果たしてきました。この開削事業を記す開鑿の碑が坂頂に建っています。

その後、昭和9年に旧志戸坂トンネルが、昭和56年には現在の志戸坂トンネルが開通したのはご記憶の方も多でしょう。元々の志戸坂峠道は訪れる人もほとんど無くなっていましたが、平成8年11月、志戸坂峠は文化庁から歴史的な価値を認められ「歴史の道百選」に指定されました。また、平成15年には岡山県近代化遺産に「智頭往來志戸坂峠の石崖」が指定されており、将来にわたって保存に努め、歴史の道にふさわしい活用が求められています。



近代化遺産 志戸坂峠道の石崖

## 人の動き 平成17年9月1日現在

●人口 1,709人(+3) ●8月中の移動  
男 812人(+1) 出生 1人 死亡 2人  
女 897人(+2) 転入 6人 転出 2人  
●世帯数 548戸(-1)

## お誕生おめでとう

福島	湊人 ちゃん	8月3日生まれ(中土居住宅)
		お父さん 得 博さん
		お母さん 恵 美さん
青木	蓮 ちゃん	8月28日生まれ(別府住宅)
		お父さん 満 之さん
		お母さん 早 織さん
井上	大雅 ちゃん	9月3日生まれ(大 茅)
		お父さん 幸 則さん
		お母さん 裕 子さん
平田	迅 ちゃん	9月21日生まれ(引 谷)
		お父さん 学 さん
		お母さん 美 幸さん

## 幸せ多い人生を

矢代 勝則 さん(塩 谷)  
(梶尾)美咲 さん(久米郡美咲町)  
平田 英之 さん(影 石)  
(水嶋)麻里奈さん(美作市)

## お悔やみ申し上げます

神原 正臣 さん(下土居) 9月 8日 79歳  
清水 はる さん(塩 谷) 9月14日 85歳  
青木 束 さん(引 谷) 9月23日 85歳

## 善意の窓 (村社会福祉協議会から)

平成17年8月20日~17年9月19日

### お大事にしてください

大 茅 上山 梅男 様 妻律子様 退院内祝  
別 府 小椋 久子 様 本人 退院内祝  
知 社 園野 哲 様 本人 退院内祝  
坂 根 田中 浩助 様 本人 退院内祝

### ご冥福をお祈りします

別 府 白旗 強 様 亡妻はや子様 香典返し  
下土居 神原美津子 様 亡夫正臣様 香典返し

### 今月の村税

個人村県民税(第3期)  
国民健康保険税(第5期)

**納期限：10月31日**

納期限にご注意いただき、納付をお願いいたします。また、口座振替の場合は残高確認など、よろしくご願ひいたします。  
お問い合わせ先：西粟倉村役場総務企画課